

基礎・基盤研究部門の発足(1949 ~ 1966)

When the basic R&D division was founded (1949 to 1966)

< 基礎・基盤研究部門の位置づけ >

1949年、電気通信省の設置によって初期電気通信研究所の体制が整い、方式実用化部、器材実用化部と並んで基礎研究部が創設された。

この第1次基礎研究部は4科で構成され、通信方式(マイクロ波通信、トラヒック理論等)、情報処理(音声、電子計算機等)、部品・材料(半導体等)の各領域で基礎・基盤研究を開始した。その後、1956年の電電公社梶井総裁(当時)による基礎研究強化の指示を受けて、茨城支所開所(1960年)、研究設備充実、研究者増強等、現在の基礎基盤部門のR&D体制の基盤が築かれた。

< 研究方針 >

新しい通信技術の実用化を支える研究

将来を見越した基礎的研究

< 研究組織 >

電気通信省・電気通信研究所

基礎研究部

— 物理科

— 化学科

— 伝送研究科

— 無線研究科

— 基礎管理科